

二〇七四年十一月五日

今年十一月は暑い。昨日も最高気温が、三十度だった。記録的な暑さである。九時、教育委員会からの電話が鳴った。シンジヨ―は、職場用フォンの画面から、教育委員会の教育課長からの電話だと分かった。教育課長は、いつもの低くて太い声で、話し出した。シンジヨ―さん。用意ができました。少し時間がかかってしまいました。今日から

会話ができません。校長室に飾ってある歴代校長の写真。その誰か一人と、AIを使って会話ができることになった。フオートークのサービス機能を、教育委員会が負担してくれるのだ。シンジヨ―は、歴代校長の中から、第十四代の村越校長を希望していた。何でこの校長に「一つ聞いてもいいですか。何でこの校長に課長からの質問に、シンジヨ―は、自分が卒業したときの校長だったこと、今年が百周年なので、五十周年だったこと、今年が百周年なので、

が	ン	カ	し	の		校		た	し		し	入	れ	人	な		か		「		「	い	い
出	カ	に	い	写	フ	長	一	。も	込	デ	て	間	ば	と	く	め	絶	分	守	シ	て	ろ	
た	で	も	。夜	真	オ	室	部	ち	み	ー	く	市	、	で	な	対	か	つ	ン	答	い	ろ	
こ	寝	な	中	と	ト	も	屋	ろ	さ	タ	れ	で	そ	も	い	に	つ	て	ジ	え	ろ	教	
と	不	っ	、	会	ー	同	で	ん	え	は	て	、	の	、	い	守	。ま	く	ョ	た	。教	え	
か	足	て	写	話	ク	じ	一	、	す	教	い	校	人	ペ	う	る	だ	さ	ー	。え	て	て	
ら	に	し	真	が	が	で	人	申	れ	育	る	長	と	ット	こ	べ	さ	さ	ん	、	く	れ	
、	な	ま	同	で	出	あ	い	し	、	委	。傾	室	会	も	と	き	い	。ね	、	。か	。も	し	
一	、	った	士	よ	始	る	う	込	会	員	、	の	が	、	フ	ま	。先	あ	の	決	。な	い	
部	ノ	そ	で	う	め	。頃	フ	ま	話	会	利	写	で	、	オ	ない	も	知	決	。な	。い	こ	
屋	イ	う	会	に	た	、	ト	い	が	持	り	真	も	、	ク	校	り	。だ	。な	。い	。こ	と	
一	ロ	だ	話	し	一	部	ー	長	で	っ	。年	。数	と	写	の	も	。知	け	。な	。い	。こ	と	
人	ー	。だ	が	た	屋	で	ク	も	き	て	前	。数	写	真	ル	い	。知	。な	。い	。こ	と	に	
の	ゼ	。だ	始	人	で	何	の	い	る	い	。数	。数	真	さ	ー	。知	。知	。な	。い	。こ	と	に	
ル	に	。だ	まり	が	何	人	ル	る	。な	。申	。数	。数	。真	え	ル	。知	。知	。な	。い	。こ	と	に	
ル	な	。だ	、	いた	人	も	ル	る	。な	。申	。数	。数	。真	え	ル	。知	。知	。な	。い	。こ	と	に	
が	っ	。だ	、	たら	も		ル	る	。な	。申	。数	。数	。真	え	ル	。知	。知	。な	。い	。こ	と	に	
で	た	。だ	ケ				ル	る	。な	。申	。数	。数	。真	え	ル	。知	。知	。な	。い	。こ	と	に	
き	人	ケ	ン				ル	る	。な	。申	。数	。数	。真	え	ル	。知	。知	。な	。い	。こ	と	に	







